

試験研究成果普及情報

部門	養豚	対象	普及
課題名：三元交雑豚 LWD の産肉性に及ぼす止め雄系統の影響			
[要約] 系統豚の効率的利用を図るため「ボウソウ L3」と「ボウソウ W」を交配した LW 種雌豚に D 種としてユメサクラ、しもふりレッド、サイボクの 3 系統を組合せ交配した三元交雑豚 LWD の産肉性並びに肉質について調査したところ、ユメサクラの組合せが発育成績も良く、上物率も高い傾向にあり良好な組合せである。			
キーワード：ボウソウ L3、ボウソウ W、LWD、組合せ、産肉性			
実施機関名	主 査	畜産総合研究センター生産技術部養豚養鶏研究室	
	協力機関	なし	
実施期間	2005 年度～2006 年度		

[目的及び背景]

本県では、平成 13 年に大ヨークシャー種の系統豚として「ボウソウ W」、平成 16 年にランドレース種の系統豚として「ボウソウ L3」の認定を受け、現在 2 系統を維持し、県内農家に種豚供給を行っているが、効率的で高品質な肉豚生産のためには、止め雄となるデュロック種 (D) の組合せ試験を実施し、より優れた組合せを示していく必要がある。

そこで、系統豚の効率的利用を図るため、「ボウソウ L3」に「ボウソウ W」を交配した LW 種雌豚に、デュロック種として国で造成した「ユメサクラ」、宮城県で造成した「しもふりレッド」、(株)埼玉種畜牧場で生産されている通称「サイボク」の 3 系統のデュロック種を供試し、生産された三元交雑豚 LWD の産肉性並びに肉質について調査する。

[成果内容]

1. 発育成績は、ユメサクラの組合せが良好な成績である。(表 1)
2. と体成績は、背脂肪厚、ランジル部脂肪厚でユメサクラ、しもふりレッドが厚い傾向にあり、ロース断面積はサイボクが大きい傾向にある。(表 2)
3. 枝肉の格付けによる上物率は、ユメサクラの組合せが 70.6% と最も高く、サイボクが 68.0%、しもふりレッドが 55.2% であり、ユメサクラの組合せが良好な成績である。(図 1)
4. 肉質成績は、ユメサクラの組合せが加熱損失が少なく、伸展率が高い理化学的特性を示し、しもふりレッドでは水分含量が少ない傾向にある。(表 3)

[留意事項]

1. 三元交雑豚の肥育は、30～110kg まで全期間、新豚産肉能力検定用飼料 (TDN : 74.5% 以上、CP : 14.5% 以上) を不断給餌している。
2. 系統豚ボウソウ L3、ボウソウ W の利用農家での活用が期待できる。

[普及対象地域]

県下全域

[行政上の措置]

特になし

[普及状況]

特になし

[成果の概要]

表1 発育成績

	止め雄(D)	ユメサクラ	しもふりレッド	サイボク
頭数	(頭)	34 (雌17:去勢17)	29 (雌20:去勢9)	25 (雌13:去勢12)
30kg到達日齢	(日)	66.3	70.6	71.1
検定開始体重	(Kg)	33.0	32.3	32.8
110Kg到達日齢	(日)	159.8 a	167.4 b	164.9
検定終了体重	(Kg)	114.6	114.0	114.3
1日平均増体重(30kg~)	(g)	883.3	848.8	877.5

注) 平均値、異符号間に有意差(p < 0.05)

表2 と体成績

	止め雄(D)	ユメサクラ	しもふりレッド	サイボク
冷と体重	(Kg)	76.1	74.3	74.9
と体長	(cm)	96.1	95.3	95.8
背腰長	(cm)	70.1	69.0	69.5
と体幅	(cm)	34.7 a	34.7 a	33.4 b
背脂肪(カタ)	(cm)	3.8	3.7	3.6
背脂肪(セ)	(cm)	2.0 a	2.0	1.8 b
背脂肪(コシ)	(cm)	2.9 a	2.9 a	2.6 b
3部位平均	(cm)	2.9 a	2.9 a	2.7 b
ランジル前	(cm)	2.9 a	2.9 a	2.6 b
ランジル中	(cm)	2.1 a	1.9 b	1.6 b
ランジル後	(cm)	2.8	2.7	2.6
カタ割合	(%)	30.1	30.2	30.4
ロ・ス・バラ割合	(%)	41.3	40.9	40.7
ハム割合	(%)	28.5	28.9	28.9
ロ・ス断面積	(cm ²)	21.3	21.8	23.6

注) 平均値、異符号間に有意差(p < 0.05)

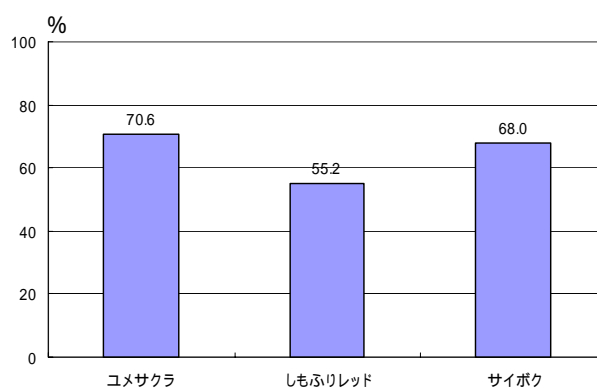


図1 上物率の比較

表3 肉質成績

	止め雄(D)	ユメサクラ	しもふりレッド	サイボク
頭数		15	9	12
水分含量	(%)	74.1 a	72.2 b	73.8 a
加熱損失	(%)	20.8 a	22.6 b	22.5 b
伸展率	(cm ² /g)	34.9 a	32.5 b	33.8
加圧保水力	(%)	87.8	86.7	87.9
圧搾肉汁率	(%)	50.3	48.7	49.4
せん断力価	(kg)	4.18	4.49	3.97

注) 平均値、異符号間に有意差(p < 0.05)

[発表及び関連文献]

千葉県畜産総合研究センター研究報告第8号
平成20年度試験研究成果発表会資料(養豚部門)

[その他]